

地域医療確保の取り組み

《詳細》保健福祉部
☎25-2872

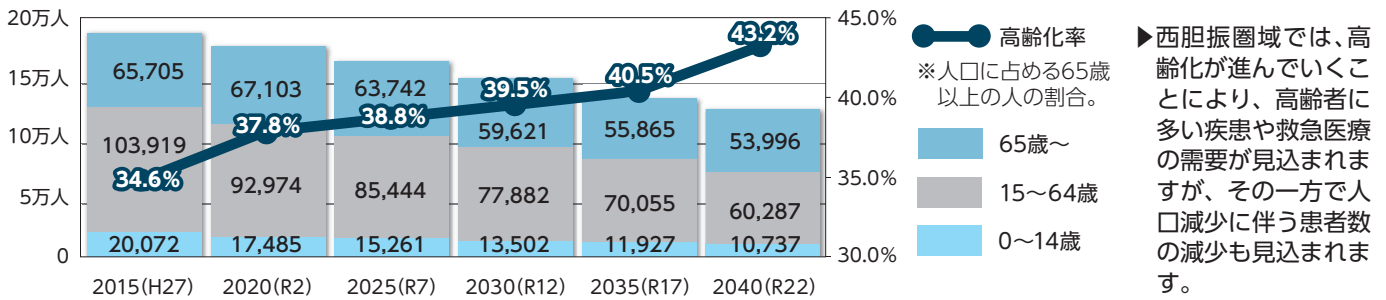
持続可能な医療提供体制の構築を目指して

今後、西胆振圏域の人口減少や高齢化が進んでいくことに加え、安定した医師確保や医師の働き方改革への対応などを見据え、持続可能な医療提供体制の確保を目指すため、市では、平成30年9月に「室蘭市地域医療連携・再編等推進協議会」を設置し、協議を進めています。

Q 「室蘭市地域医療連携・再編等推進協議会」とは？

A 将来的にも安心できる医療提供体制の確保に向けて、市内3病院(製鉄記念室蘭病院・日鋼記念病院・市立室蘭総合病院)、室蘭市医師会、室蘭市で構成する協議会です。

西胆振圏域の将来人口推計



第2次中間取りまとめ(抜粋) 令和2年3月

令和元年度に開催した計7回の協議会では、市内3病院が持つ豊富な医療資源を活用しながら、令和7年以降のできるだけ早い時期の再編などを目指し、再編後の医療機能を中心に検討を行いました。

- 主に高度急性期、急性期医療や救命救急における二次医療圏の拠点となる医療機関は、新病院の建設も視野に東室蘭地域に1つ整備することを目指す
- 主に回復期、慢性期機能、比較的軽度な急性期医療も提供し、在宅医療・介護との連携を図りながら、地域を支える医療機関を蘭西地域に確保することを目指す
- 3病院の再編などに向け、市立室蘭総合病院は、経営効率化の取り組みを強化するとともに、現行の医療機能を勘案しつつ、経営改善を図るため、地方独立行政法人への移行も含め、より柔軟な運営方法について、令和2年度中に策定する新たな改革プランにあわせて検討する

※「第2次中間取りまとめ」は、市ホームページでご覧いただけます。



今後の 検討に 向けて

市民の皆さんからは、市内3病院の再編協議に関しての心配の声もいただいておりますが、現在の豊富な医療資源を将来的にも維持するとともに、再編により急激な医療提供体制の変化が生じないように、市民の負担を軽減することが最も重要であるとの視点に立って検討を進めていきます。

将来にわたり安心できる医療提供体制の確保に向けて、しっかりと協議を進め、取りまとめられた内容は順次、市民の皆さんにお知らせしていきます。

室蘭市地域医療連携・再編等推進協議会会長
室蘭市長 青山 剛